

## <報道発表資料>

令和6年2月6日

### 主要地方道羽生外野栗橋線バイパスが開通します — 令和6年3月16日（土）15時開通 —

主要地方道羽生外野栗橋線は羽生市内の一般国道122号から久喜市内の一般国道4号までを東西に結ぶ幹線道路です。

羽生市の中心部を通る現道は、屈曲部や東武伊勢崎線の踏切があり、歩道が未整備な箇所があるなど、「円滑な交通」と「道路利用者の安全」の確保が課題となっていました。

このため、県では、羽生市内の一般国道122号桑崎（北）交差点から東武伊勢崎線を渡り、現道の北二丁目交差点までの延長約1.9km区間について、主要地方道羽生外野栗橋線バイパスとして整備を進めてきました。このたび、このバイパスが完成し、3月16日（土）15時に開通します。

この区間の開通により、道路ネットワークの強化による通過時間の短縮や防災機能の向上、交通安全性の向上、地域活性化の促進などが期待できます。

なお、開通に先立ち、同日10時から開通記念式典を開催します。

#### 1 事業概要

区 間	羽生市桑崎地内（国道122号桑崎（北）交差点） ～羽生市本川俣地内（北二丁目交差点）
延 長	約1.9 km
幅 員	16.0 m
着手年度	平成元年度
事業費	約34億円

#### 2 開通記念式典

日 時	令和6年3月16日（土）10時～
場 所	県道羽生外野栗橋線バイパス内特設会場
内 容	式辞、来賓祝辞、工事経過報告、感謝状贈呈、 テープカット、久寿玉開披、祝賀パレードなど

## 位置図



## 整備効果

### ①道路ネットワークの強化

鉄道立体交差化（川俣陸橋）により、東西方向の円滑な道路ネットワークが強化され、通過時間の短縮や防災機能の向上が期待できます。

### ②交通安全性の向上

バイパスの整備により幅の広い歩道が確保されるとともに、市街地を通過する現道からの交通転換が図られ、交通安全性の向上が期待できます。

### ③地域活性化の促進

近隣で進む商業施設立地や住宅供給に伴う、交通需要の増加に対しても円滑な交通が確保でき、地域活性化の促進が期待できます。

#### ①現道の交通渋滞の状況



#### ②整備状況（バイパス）

